



# 手指衛生

## 手指衛生の種類

### 石鹸と流水で洗う場面

➢ 手が目で見て汚いか、血液・体液で汚染している場合

例)

- ①吐物が手に付着した時
  - ②尿や便などの排泄物が手に付着した時
  - ③口腔ケアや吸引など、唾液や痰が手に付着した時
  - ④ドレーンなどの排液が手に付着した時
- など

### 擦式アルコール製剤で洗う場面

➢ 手が目に見えて汚染していない場合

例)

- ①検温の前
- ②他の患者の処置に移る前
- ③同一の患者でも清潔な処置に移る前
- ④輸液の準備をする前
- ⑤内服薬を準備する前

など

# 手洗いの方法

## 流水と石鹸での手洗い

## 擦式アルコール製剤での手洗い



### 手荒れ防止対策例

- ・手の乾燥を防ぐ(ハンドクリームの使用)
- (例)昼休み、勤務終了後、寝る前等に使用

### 手荒れ発生時の対策例

- ・専門医(皮膚科医)を受診する

# WHO 手指衛生の5つのタイミング



WHO "My 5 Moments for Hand Hygiene" at a Glance  
 #12. <http://www.who.int/gpsc/5may/background/5moments/en/>  
 ©World Health Organization 2009. All rights reserved.

# 患者に触れる前

手指を介して伝播する病原微生物から患者を守るため



どんな時?(例)

- ・握手の前
- ・入浴や清拭の前
- ・脈拍測定の前
- ・移動などの介助の前
- ・血圧測定の前
- ・胸部、腹部触診の前

## 清潔/無菌操作の前

患者の体内に微生物が侵入することを防ぐため



どんな時？(例)

- ・尿道留置カテーテル挿入
- ・皮下注射、カテーテル挿入、血管アクセス開設などの前
- ・創部ドレッシングを行う前 ・損傷皮膚のケアの前
- ・分泌物の吸引前 ・口腔／歯科ケアの前
- ・食事、投薬、ドレッシング材の準備の前

5

## 体液に曝露された可能性のある場合

患者の病原微生物から自分自身と医療環境を守るため

どんな時？(例)

- ・口腔／歯科ケアの後 ・分泌物の吸引後 ・損傷皮膚のケアの後
- ・液状検体の採取および処理をした後 ・気管内チューブの挿入と抜去の後
- ・尿、糞便、吐物を除去した後や汚物の処理をした後
- ・汚染箇所あるいは明らかに汚染された箇所の清掃をした後



6

## 患者に触れた後

患者の病原微生物から自分自身と医療環境を守るため



どんな時？(例)

- ・握手の後 ・移動などの介助の後 ・入浴や清拭の後
- ・脈拍測定の後 ・血圧測定の後 ・胸部聴診の後

7

## 患者周辺の物品に触れた後

患者の病原微生物から自分自身と医療環境を防ぐため

どんな時？(例)

- ・シーツ交換の後 ・点滴速度調整の後 ・輸液ポンプのアラームを確認した後
- ・ベッド柵をつかんだ後 ・ベッドサイドテーブルを清掃した後



8